

当財団理事シハブ・アハマド・アル・ファヒーム駐日 UAE 大使のご参加のもと、石垣島の名蔵湾で3回目のマングローブ植林を実施いたしました

一般財団法人 INPEX JODCO 財団（以下、当財団）は、当財団理事のシハブ・アハマド・アル・ファヒーム駐日アラブ首長国連邦大使のご参加のもと、八重山ライオンズクラブおよび特定非営利活動法人 国際マングローブ生態系協会（以下、ISME）と共催し、2025 年 11 月 17 日に石垣島名蔵湾でマングローブの植林を行いました。

アラブ首長国連邦（以下、UAE）は、2030 年までに自国で 1 億本のマングローブを植林する目標を発表しています。本植林活動は、気候変動への取り組みおよび UAE と日本の環境交流の一環として、国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議（COP28）が UAE で開催された 2023 年より、アル・ファヒーム大使の発案により実施されているもので、3 回目の開催となります。

今回実施された植林活動には、アル・ファヒーム大使をはじめとする大使館メンバー、当財団、八重山ライオンズクラブ、ISME、昨年 UAE で実施の植林教育に派遣された生徒を含む八重山農林高校の生徒ら約 60 名が参加し、幅広い年代の参加者が一丸となり 500 本のヤエヤマヒルギの苗を植林しました。

本植林活動は、持続可能な自然環境を次世代に引き継ぐという環境保全活動の一環ですが、石垣島のみならず、UAE と日本、また、世界の気候変動対策への意識を高める良い機会となりました。





当財団は、引き続き、UAE と日本の環境交流に資する事業の実施を推進してまいります。